

あおぞら

行方市 社協だより

No.69 2023.6.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲478 番地1
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>

旧太田小学校区ひとり一品運動開催!!

ありがとうございました

3月12日(日)



地域の方々のご協力で多くの食品寄付(387kg)が集まりました。

もくじ

- 会長あいさつ…………… 2
- 社協会員加入のお願い・フードパントリー
善意銀行・編集後記…………… 8
- 令和5年度社協の予算 …… 3
- 令和5年度社協の事業計画 … 4～7

会長 あいさつ



社会福祉法人行方市社会福祉協議会
会長 鈴木 周也

皆さまにおかれましては、日ごろより当協議会の運営に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、これまで、便利で豊かな社会の構築に向け、日常生活や社会活動を行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、今までの生活スタイルは一変してしまいました。

ここ数年は日々の生活を維持することや、社会経済活動を守る一方でしたが、本年5月8日から感染症法上の位置づけが5類に移行し、徐々にではありますが、従来の日常を取り戻しつつあります。

今後は、笑顔で住み続けたいと思える「なめがた」

を目指し、皆様の安全や市民の安心を高めるために、不測事態に備えるとともに、子育て・高齢者支援や市民のだれもが活躍できる環境づくりを進め、市民協働共創による希望のもてるまちづくりに積極的に取り組んでまいります。

特に、日常のちょっとした困り事を住民同士で支え合う「生活支援体制整備事業」では、自治会・消防団・ボランティア等の協力者も次第に増え、地域コミュニティの輪が広がっています。当協議会といたしましては、今後とも地域福祉の推進機関として、これまで培ってきたネットワークやノウハウを活かしながら、地域の生活課題の解決や福祉向上に向けた取り組みを推進してまいります。

結びに、地域に密着した福祉活動を展開できる社会福祉協議会に向けて、皆さまの一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます、挨拶いたします。



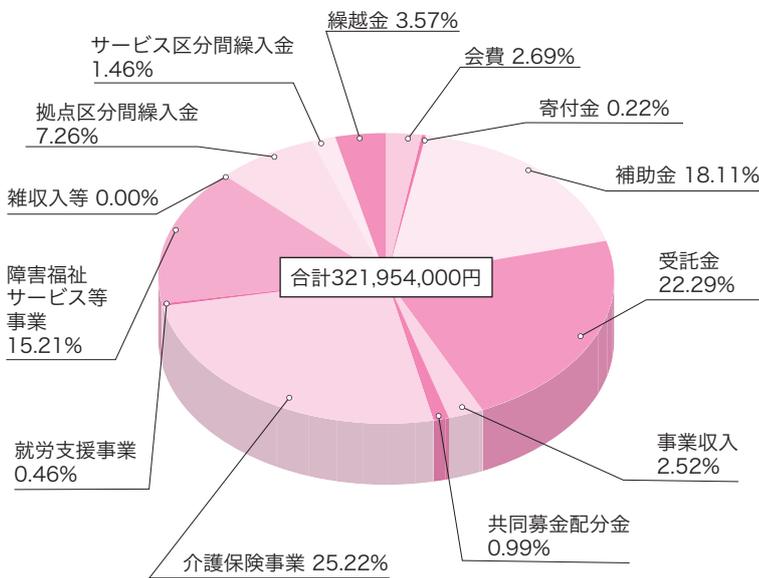
令和5年度 社会福祉法人 行方市社会福祉協議会予算

社会福祉協議会（社協）の財源は、地域の皆様や企業からの会費及び寄付金、共同募金配分金、行政等からの補助金・受託金、そして高齢者や障害者の方への福祉サービス等により編成されております。これらを原資として「誰もがみんな ふれ合い 支え合い 助け合うまち なめがた」を目指して様々な地域福祉活動を展開していきます。

予算総額 321,954,000円

収入

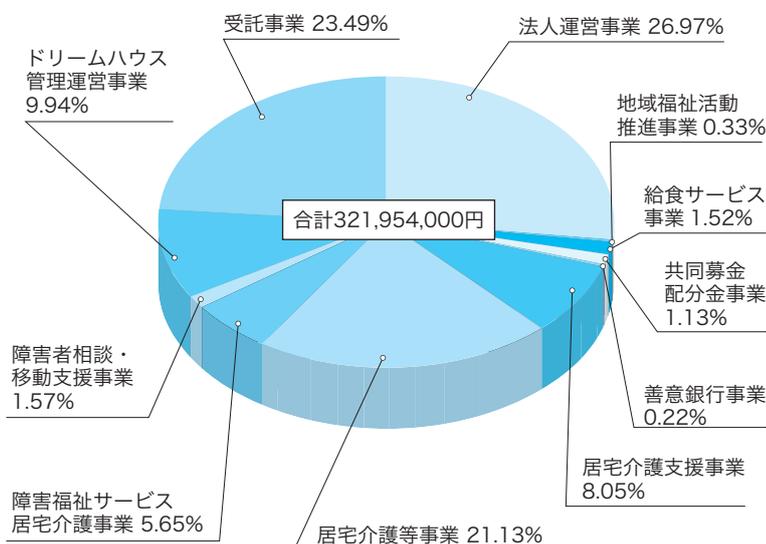
(単位：千円)



会費	8,660
寄付金	711
補助金	58,298
受託金	71,771
事業収入	8,114
共同募金配分金	3,173
介護保険事業	81,197
就労支援事業	1,471
障害福祉サービス等事業	48,968
雑収入等	13
拠点区分間繰入金	23,386
サービス区分間繰入金	4,685
繰越金	11,507
合計	321,954

支出

(単位：千円)



法人運営事業	86,832
地域福祉活動推進事業	1,051
給食サービス事業	4,883
共同募金配分金事業	3,648
善意銀行事業	712
居宅介護支援事業	25,915
居宅介護等事業	68,035
障害福祉サービス居宅介護事業	18,201
障害者相談・移動支援事業	5,047
ドリームハウス管理運営事業	32,000
受託事業	75,630
合計	321,954

令和5年度行方市社会福祉協議会事業計画

誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりの実現に向けて住民の皆様や、行政、関係機関と連携して地域福祉の推進に取り組んで参ります。

地域福祉事業

- 地域福祉事業の推進
- ・給食サービス事業



- ・介護予防事業
 - (1)元気でくさくさびす館
 - (2)地域介護予防事業への支援
- ・コミュニティ活動の積極的支援
 - (1)生活支援体制整備事業
 - (2)小地域福祉活動モデル地区指定事業
 - (3)地域防災、防犯ネットワーク推進事業
 - (4)地域生活支援事業（なめがたフードパントリー）
 - (5)サロン活動立ち上げ支援
 - (6)備品貸出事業
- 障害者（児）福祉事業
 - ・ビックリ・発見・夏キャンプ
 - ・のびのびサポート事業
 - ・視覚障害者用録音物配布事業
 - ・障害者スポーツ大会事業
 - ・親子ふれあい事業

母子・父子福祉事業

- ・ひとり親家庭事業
- (1)新入学祝品贈呈

- 子育て支援事業
 - ・子育てサポート事業
 - ・養育支援訪問事業
- ボランティア活動の推進
 - ・ボランティアセンターの運営強化
 - ・ボランティア講座の実施
 - ・ボランティアグループの育成・援助
- ・福祉教育の推進



相談支援事業

- 法律相談事業
- 日常生活自立支援事業
- 資金貸付事業
 - 生活福祉資金貸付事業
 - 生活福祉資金特別貸付債権管理事務フォロアアップ支援事業

在宅生活支援事業

- 福祉機器（車いす等）貸出事業
- 福祉車輛貸出事業
- 訪問歯科治療器具貸出事業
- 在宅言語リハビリアドバイザー事業
- 在宅福祉サービスセンター運営事業

広報啓発事業

- 広報紙「あおぞら」の発行
- ホームページの管理運営



介護保険事業

- SNS等の活用
- なめがたエリアテレビ等の活用
- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業

障害者総合支援事業

- 地域包括支援センター麻生
- 居宅介護
- 重度訪問介護
- 同行援護
- 行動援護
- 計画相談支援
- 就労継続支援B型

地域生活支援事業

- 移動支援事業
- 地域活動支援センター

“手作り手工芸品”



その他社会福祉関連事業

- デマンド型コミュニティバス（乗合タクシー）事業
- 福祉バスの管理運営事業
- 当事者団体支援事業
 - 行方市ボランティア連絡協議会
 - 行方市身体障害者福祉協議会
 - 行方市遺族会
 - 行方市いきいきクラブ連合会



夏休みの思い出に・・・参加者募集!

のびのびサポートのご案内

内 容 夏休み期間中の10日間、対象者のストレス軽減と保護者の育児の負担軽減を目的に、支援スタッフと一緒に日替わりの活動や自由遊び等を行い一日を過ごします。

日 時 ①7月28日(金) ②8月 7日(月) ③8月 9日(水) ④8月16日(水)
⑤8月17日(木) ⑥8月21日(月) ⑦8月23日(水)
⑧8月25日(金) ⑨8月29日(火) ⑩8月30日(水)
午前9時から午後4時まで

場 所 行方市地域包括支援センター

対 象 者 市内在住の特別支援学校に通う児童、生徒
市内の特別支援学級を利用する児童、生徒

定 員 1日につき10名定員 ※申し込みは先着順にて受付させていただきます。
最小催行人数 1日あたり3名

参 加 費 1日につき1,000円

申込方法 6月23日(金) までに下記お問合せ先までご連絡ください。



ビックリ・発見・夏キャンプ

内 容 1泊2日の協同生活を楽しみましょう。レクリエーションや花火、野外炊飯でのピザ作りを行います。保護者の方向けに講演会も予定しております。

日 時 8月1日(火) 午後1時から8月2日(水) 正午まで

開催場所 レイクエコー 茨城県鹿行生涯学習センター
茨城県立白浜少年自然の家

対 象 者 市内在住の特別支援学校及び特別支援学級に通う児童・生徒
市内在住の障害児(者)

定 員 6組 ※申込は先着順にて受付させていただきます。

参 加 費 大人：2,000円 中学生以下：1,000円

申込方法 6月23日(金) までに下記お問合せ先までご連絡ください。



地域包括支援センター

みなさんの生活を支える相談窓口

地域包括支援センターは、行方市が設置主体となり、高齢者のみなさんが住み慣れたまちで安心して暮らしていくために必要な援助や支援をする地域の総合窓口です。社会福祉協議会では、麻生圏域を委託されています。

主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師等が中心となって、みなさんからのさまざまな相談や悩みを聞いたり介護予防や健康づくりを支援したりしながら、安心できる地域、暮らしやすい地域をつくります。



介護のこと

- ・介護保険のサービスを利用したい
- ・高齢者施設について知りたい

様々な心配ごと

- ・近所の高齢者が心配
- ・親の認知症が心配

権利を守ること

- ・悪徳な訪問販売にあった
- ・虐待かもしれない

健康のこと

- ・いまの健康を維持したい
- ・介護予防に取り組みたい

～介護の体験などみんなでお話ししませんか？～

ご家庭で介護をされている方や介護の経験がある方が集まり、自由に話していただく語らいの場を開催しています。実際に介護をした体験などをみんなで共有し、情報交換をしませんか。介護に関する相談も受け付けています。

介護経験のある方・これから備えたい方・どなたでも自由参加ですので、ぜひご参加ください！

○開催場所：天王崎観光交流センター「コテラス」
2階多目的室

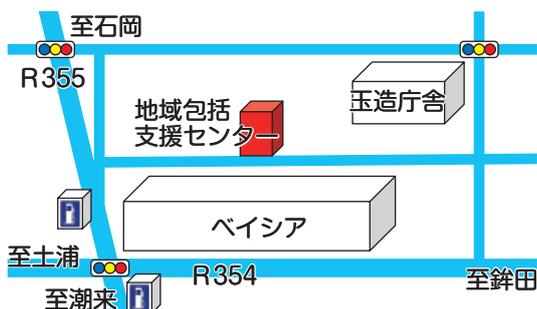
○開催日：令和5年 6/5（月）、7/3（月）、8/7（月）、9/4（月）

○時間：午後1時30分～3時00分

○申し込み・お問い合わせ：地域包括支援センター ☎ 0299-55-0114

＜参加者の声＞

- ・ほかの人と話をすることで、自分だけじゃないことが分かる。
- ・認知症を理解するためにもほかの人の話を聞くことが大切だと思う。
- ・将来の自分のために行くのもいいと思った。



行方市地域包括支援センター
行方市玉造甲478番地1

0299-55-0114

介護保険事業について

社会福祉協議会では**居宅介護支援事業所**の運営をしています。要介護状態になった利用者に対して適切な介護支援を提供することを目的としています。

利用者が可能な限り在宅において有する能力に応じ自立した日常生活ができるよう ケアマネジャー（介護支援専門員）が認定調査をしたり、ケアプランを作成しています。



サービスについて利用者家族、ケアマネジャーと打合せ

ホームヘルパー（訪問介護員）を自宅へ派遣する**訪問介護事業所**の運営をしています。自宅を中心に利用するサービスとして身体介護や生活援助などがあります。必要な支援の度合いによって利用できるサービスは異なります。



利用者の体調確認



生活援助（調理の様子）

☀️元気で～さ～びす館

元気で～さ～びす館では、引きこもり予防や健康・仲間づくりを目的に、みんな楽しく交流を図っています。麻生地区は天王崎観光交流センターコテラスで、北浦・玉造地区は行方市地域包括支援センターで、市内3地区にわけてそれぞれ月に2回開催しております。

元気で～さ～びす館での1日



行方市善意銀行

令和5年2月1日から令和5年4月30日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介します。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

皆様からの寄付金・預託金(順不同・敬称略)

寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
R4年度麻生高校3年C組	1,680	無指定
R4年度麻生高校3年B組	454	無指定
(有)根本商店	20,000	無指定
石神勝徳	12,000	無指定
鹿行はつらつ百人委員会	15,352	無指定
匿名	13,000	無指定
匿名	840	無指定
匿名	400,000	無指定
匿名	18,600	無指定

物品寄付

預託者名	預託品	指定先
野田淳子	手工芸品材料(布・毛糸等)	行方市地域福祉活動支援センター
匿名	タオル	無指定
匿名	紙オムツ	無指定

編集後記

半世紀以上も経つのに、雨の時季になると思いつく話がある。

高校生の時、講堂で聴いた校長先生の話。

出勤途中の駅で急に雨が降り出した。急いで駆けつけた若い女性がいた。その方は、ベンチに座るとティッシュでハイヒールを丁寧に拭いた。キョロキョロと辺りを見たがゴミ箱がない。すると、もう一枚ティッシュを取り出して包み、バックに入れた。そして、身だしなみを整えると電車に乗って行かれた。「美しい方だと思いましたが益々美しく見えました。」と仰った。何気ない雨の日の朝の一コマを話されたのだが、人の行動が美しい地域社会をつくっていくのだろう。

海外からの観光客が、日本はゴミのない美しい国と評価してくれるのは嬉しい。しかし、散歩をしていると種々なゴミが目に入る。

まずは、生活の場である大切な地域社会をきれいにしていきたい。

松澤久美子

広報委員

委員長	理崎 道子	委員	磯山 正子
副委員長	松澤久美子		横田 照実
委員	金井 裕子		加藤たか子
	熊谷 一男		宮内 和子
	大原 孝		阿部 幸一

「なめがたフードパントリー」を実施しました

令和5年3月19日(日)行方市地域包括支援センターを会場に「なめがたフードパントリー」(食品配布)を実施しました。この事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮する方などを支援することを目的とし、昨年度に続き2回目の開催となりました。

1世帯、約10kgの食材等を79世帯の方にお渡しすることができました。



【エールを送り隊】お弁当による生活サポートを実施しました

令和5年4月9日(日)麻生公民館を会場にチームエールが他団体と連携し、ひとり親世帯の方などへお弁当などの支援を行いました。

コロナ禍で仕事や生活を制限されている方は、長期化により増加し潜在化してまいります。私達はこの状況下、少しでも多くの方にエールを届けられるよう今後も活動に取り組んでまいります。



社協会員加入のお願い

地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざした様々な活動を行っています。

皆さまから寄せられた会費は地域福祉事業を行ううえで大切な自主財源となっています。ぜひご協力をお願いいたします。

会員募集期間：6月1日～6月30日

一般会員：一口 1,000円

各世帯へお願いしています。

賛助会員：一口 3,000円

社会福祉協議会の活動にご賛同いただける方のご協力をお願いします。

